

衆議院議員 ■ 奈良市・生駒市 ■

小林しげき活動レポート

Kobayashi Shigeki Activity Report

自民党 | Lib Dems
Liberal Democratic Party of JAPAN

更に詳しい情報は、自民党ホームページをご覧ください。

www.jimin.jp



vol.207 「2024秋、衆院選を終えて」

衆議院議員選挙が終わりました。

私は奈良一区で敗れ、近畿比例区で復活当選させて頂きました。11月11日にも召集される特別国会には、新たに4期生として臨みます。

10月1日に就任した石破茂内閣総理大臣は、早期の解散総選挙を決断しました。新内閣発足後に国民に信を問うために選挙を行うことはあり得ることですが、結果として自民党は大きく議席を減らしました。

岸田内閣は支持率が低迷する中、自らの総裁選不出馬宣言をきっかけに、9人が立候補しての総裁選は、国民の政治への興味・関心を高めたと考えられました。ところが自民党は公認候補247人のうち、当選は191人とどまり、自公合わせても過半数割れという結果は敗北と言わざるを得ません。

自民党敗北の理由はどこにあるのか？結果を真摯に受け止め、分析する必要があります。私が考える理由は2点、まず「政治とカネ」の悪いイメージを払拭できなかったということ。次に「選挙の争点」を明確にできなかったという点です。



「政治とカネ」については不記載問題や政務活動費、政党助成金と、問題視される対象が多岐に亘るため、有権者に対し丁寧かつ分かり易い説明が必要でした。結果として自民党が本当にルールを守るのか、疑念を持たれたままでした。

「選挙の争点」については、分かり易い景気対策、経済政策を打ち出す必要がありました。奈良県内の交通インフラを整備して、県内企業の生産性を高め、中長期的な経済成長を実現させるという考えは経済政策です。もちろん自民党の選挙公約には、景気・経済対策が書き込まれていますが、有権者に届いたかどうかは疑問です。

「衆議院選挙は政権選択選挙」であるならば、今回は自民党にとって厳しい審判が下ったということです。少数与党という形で法案を通していくことは困難な道のりですが、与野党間での丁寧な議論から結果を導き出す他ありません。厳しい結果を受け止め、再び信頼を勝ち取るために力を尽くして参ります。



SNS発信中！

小林しげきをもっと知ろう
ぜひご登録をお願いします！



「第50回衆議院議員総選挙」

小選挙区の確定得票

(**自**は比例区との重複立候補)
(**立**は比例区での復活当選者)
四角囲み政党は推薦・支持

1 区

自 90,323 馬淵 澄夫 64 立**自**前
立 73,214 小林 茂樹 60 自**立**前
43,400 高野 敦 49 維**立**新
13,511 井上 良子 60 共 新
11,366 林元 政子 50 新

2 区

自 128,554 高市 早苗 63 自**自**前
36,371 尾崎 充典 63 立**立**新
34,354 服部 知佳 42 維**立**新
14,313 池田 英子 58 共 新

3 区

自 92,379 田野瀬太道 50 自**自**前
41,897 原山 大亮 47 維**立**新
33,101 川戸 康嗣 49 立**立**新
20,543 太田 敦 53 共 新

「皆さまの祈り通じた」

小林氏、比例で復活当選

自民前職の小林茂樹氏(60)は、1区で馬淵氏に敗れたものの、比例代表(近畿ブロック)で復活当選を果たした。

「非科学的ではありません」

10月29日奈良新聞より



比例復活で当選を決め、支援者と抱き合っている小林氏。28日午前3時10分、奈良市西大寺南町1の選挙事務所

丁目の選挙事務所にて、小林氏は約70人の支援者を前に、深々と頭を下

が、皆さま方の祈りが通じたのだと思います。本当にありがとうございます。28日午前2時50分ごろ、比例代表での当選の一報を受け、奈良市西大寺南町1

自身の政治活動の原点である「教育と都市再生」を掲げて臨んだ選挙戦。連日企業まわりや選挙カーを降りてのスポット演説、駅前の街頭演説を重ねた。公明党の選挙協力に加え、石破茂首相(党総裁)や高市早苗前経済安全保障担当大臣らが応援演説に立ち、復

活当選を手繰り寄せた。3年前の選挙でも小選挙区で敗れ、比例復活の一報が届いたのは比例残り数枠となった午前3時ごろだった。小林氏は「前回と同じような時間帯に比例での当

選が決まり、しかも外は雨が降っている。ずぶ濡れになった気持ちでもう一度立ち上がれという叱咤(しつた)激励だと思い、頑張つてまいります」と決意を述べた。

党派別当選者の内訳

党派	公	前	小選挙区					比例区					当復活	を含む
			計	前	元	新	女性	計	前	元	新	女性		
自民	191	247	132	125	0	7	13	59	51	1	7	6	47	
立憲	148	98	104	83	7	14	19	44	10	9	25	11	43	
維新	38	44	23	17	0	6	0	15	11	1	3	4	15	
国民	28	7	11	6	1	4	3	17	1	1	15	3	16	
公明	24	32	4	4	0	0	0	20	16	0	4	4	0	
れいわ	9	3	0	0	0	0	0	9	3	2	4	4	7	
共産	8	10	1	1	0	0	0	7	4	0	3	3	1	
参政	3	1	0	0	0	0	0	3	1	0	2	2	1	
保守	3	0	1	0	1	0	0	2	0	0	2	1	0	
社民	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無所属	12	22	12	9	0	3	0	-	-	-	-	-	-	
計	465		289	246	9	34	35	176	97	14	65	38	130	

10月29日 朝日新聞より

<Profile>

昭和39年10月9日生。奈良県奈良市出身。奈良市立平城小学校、登美ヶ丘中学校、清風高等学校慶應義塾大学法学部卒業
平成6年 三和住宅(株)入社
平成14年 奈良青年会議所理事長
平成23年 奈良県議会議員 2期目当選
平成23年 自由民主党奈良県第一選挙区支部長
平成24年 衆議院議員 初当選
令和2年 国土交通大臣政務官
令和4年 環境副大臣兼内閣府副大臣
令和5年 自由民主党国土交通部会長代理
令和6年 衆議院議員 4期目当選



小林 茂樹 (こばやししげき)
自由民主党奈良県第一選挙区支部長
衆議院議員

小林しげき後援会事務所 奈良市西大寺小坊町1-6西大寺ビル1階TEL0742-52-6700 FAX0742-52-8633